

人 気 女 優 2 2 歳

第八卷

公衆の面前でヘアヌード

混浴露天風呂篇

海老沢 薫 著

内容

■ 著作権について

■ まえがき

■ 第一章 タオル一枚持たずに露天風呂に向

かう人気女優

■ 海老沢薫 BLOG

■ 海老沢薫 Web 連載小説

※ 海老沢薫 BLOG

・ ・ ・ 最新作の出版情報や、そのほか各種コンテンツ情報などを配信。

<https://ebisawakaoru.blog.2nt.com/>

■ 著作権について

「人気女優22歳 第八巻 公衆の面前でへ
アヌード 混浴露天風呂篇」(以下本書と表
記する)の著作権は「海老沢薫」にあります。

・本書のすべての内容は、日本の著作権法、
及び国際条約によって保護されています。

・「海老沢薫」が事前に書面をもって許可し

た場合を除き、本書の一部、または全部を、

あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファ

イル、ビデオ、テープレコーダー)により複

製、流用、転載、転売することを固く禁じま

す。

・著作権の侵害につきましては、著作権法第

61条などの罰則がありますのでご注意ください

い。

■ まえがき

人気女優・神里美優は、女芸人・北原貴子に弱みを握られ、ヘアヌード写真集の撮影を強要され続けていた。前回の海辺と夏祭りでの撮影では、全裸逆立ちで山車に飾られ、大観衆の前で何度も絶頂させられるという極限の辱めを受けた。その記憶は深い傷として残り、夜も眠れぬほどの不安を抱く一方で、体はなぜか熱を帯び、疼きを抑えられなくなっていた。

二週間後、次の撮影場所に指定されたのは山間部の寂れた温泉旅館。美優は再び一人で現場に向かい、北原の指示に従い浴衣だけを羽織って露天風呂へ向かう。タオルすら許されず、素っ裸のまま小路を歩かされた美優の前に、すでにカップルが浸かっている秘湯が現れた。北原は遠くから望遠レンズを構え、インカムを通じて遠隔指示を出す。

体を隠すことも禁じられ、美優はカップルの前で自己紹介を強いられ、お尻を見せ、裸

踊りを披露する。同世代の女性からの嫉妬と
軽蔑の視線、男性の欲情の眼差しに晒されな
がら、羞恥は極限に達する。さらには縁に座
って脚を開き、自慰を命じられ、秘部を広げ
て感想を求め、男に弄つてもらおうよう懇願さ
せられる。
北原の命令は容赦なく続き、女の手による
責め、二人同時の弄り、四つん這いで尻の
穴の見せつけ、ガニ股での卑猥な腰振りへと
エスカレートしていく。
人気女優としてのプライドを碎かれ、羞恥
と快感が交錯する中、女優は秘湯で見知らぬ
カップルの慰み者となっていくのだった。
日常から隔絶された温泉地で繰り広げられ
る、遠隔指示による恥辱の撮影。女優の心と
体は、どこまで変貌を遂げていくのか

■ 第一章 タオル一枚持たずに露天風呂に向かう人気女優

極秘に行われている人気女優、神里美優のヘアヌード写真集の撮影は、だんだん過激さを増し、その写真は卑猥極まりないものになっていった。海辺で行われた撮影では、カメラマンを務める女芸人、北原貴子の企みにより美優は町の夏祭りに無理矢理駆り出され、あろうことか全裸逆立ちの体勢で山車の上に縛られて、大勢の観衆の前を引き回しにされたのだった。そうして、美優は人気女優であるにも関わらず大観衆の前で何度も絶頂を果たし、死ぬほど恥ずかしい姿を晒すことになった。女芸人の北原はその姿を何枚も写真に収め、それらは美優のヘアヌード写真集を彩る事になるに違いなかった。

海辺の町での撮影を終えた美優は、シヨツクのあまり、それから暫く立ち直れずにいた。

大勢の町の住民達の前で素っ裸を晒したただけでなく、イク姿までを見られてしまった事は美優の心に一生消えることのない深い傷を残したのだ。

あの夏祭りの現場にいた人達が、山車の上に全裸逆立ち姿で縛られ、快感に悶え狂う自分の姿を撮影した動画や写真などをもしもSNSに投稿して、自分の生き恥が世間に晒されてしまったらと思うと、美優はどうしようもない不安に襲われ夜も寝られなかった。そしてなぜか、体が熱くなり下半身が疼いてしまったのだった。

海辺での撮影が終わってから二週間後、美優はカメラマンを務める北原から新たな撮影現場に呼び出されることになった。次なる撮影場所、それは山間部にある温泉旅館だった。今度は一体どんな辱めを受けることになるのか、未だ海辺の撮影で受けた忌まわしい羞恥の記憶が頭から離れない美優は、不安に怯え

ながら撮影場所の温泉旅館へとやって来た。
今回の撮影においても、美優は北原からの
指示でマネージャーを同伴せずに一人で撮影
現場に現れた。温泉旅館は、古びた造のあま
り観光客が訪れなさそうな寂れた佇まいで、
北原が今回なぜここを撮影現場として選んだ
のか、美優には全く理解できなかった。
ここでまた私を恥ずかしい目に遭わせるつ
もりなの・・・。美優はそう思うと、温泉旅
館の寂れた雰囲気がだんだん恐くなり、同時
に下半身が無性に疼き出すのを感じていた。
美優が温泉旅館に用意された部屋で待って
いると、暫くして北原が不敵な笑みを浮かべ
ながら部屋に入ってきた。
「美優ちゃん、お疲れ～」
北原は美優とは対照的に今日も異様なハイテ
ンションで、撮影が始まる前から美優を憂鬱
な気分にした。
「美優ちゃん、こないだの夏祭りスゴかった
ね。美優ちゃんがあんなに大勢の人達の前で

何度もイクなんて思ってたからビツク
リしたよ。でもおかげで最高の写真が一杯撮
れたわ。今日もガッツリ良い写真撮ろうね！
北原はそう言っただと美優の羞恥心を煽り
立て、早速美優を精神的にいたぶろうとした
「それじゃあ今から露天風呂に行っただ撮影す
るから、よろしく！」
北原はそう言うのと、美優に裸の上に浴衣を羽
織るよう命じ、美優は戸惑いながらも部屋の
中で着ている物をすべて縫いで素っ裸になる
と、部屋に用意されていた浴衣をその上に羽
織った。
北原と一緒に部屋を出た美優は、下着を穿
いていないせいで旅館の廊下を歩いていると
秘部の辺りに外気が振れ、思わず小さく喘い
でしまった。
まだ撮影は始まっていないというのに、美
優の体はすでに妖しい快感に侵されようとし
ていた。もしかしたら、女芸人、北原の奴隷
になって数々の辱めを受けている間に、美優

は真性のド淫乱女に変貌してしまったのかも
 知れなかった。
 露天風呂が近づいてくるにつれ、美優の鼓
 動は激しく高鳴っていった。それは不安のせ
 いだけではなく、体がさらなる快感を求め興
 奮しているからに違いなかった。
 「美優ちゃん、今日もたっぷりイジメてあげ
 るからね」
 人気女優の異変に気づいた北原はそう言っ
 て美優の被虐願望をくすぐり、発情したメス犬
 のように艶めいていく様子を楽しんだ。
 やがて、脱衣所までやって来ると、北原は
 美優に浴衣を脱ぐように命じた。
 「は、はい・・・」
 美優は震える声で頷くと、羽織っていた浴衣
 を脱ぎ去り、脱衣所の籠にそっと置いた。
 「それじゃあ、コレを耳に付けてちょうだい
 状況によってはコレを使って指示を出すから
 北原はそう言っていて、インカムを美優に渡した
 美優にはどうしてこんな物が必要なのか分

からなかったが、命じられるまま右耳にインカムを装着した。
「それじゃあ行くわよ」
北原も右耳にインカムを装着し、浴衣姿に首からカメラをぶら下げた恰好のまま、素っ裸の美優を連れて露天風呂へ向かおうとした。
「あゝタオルをもらえませんか？」
美優は自分だけ裸なのが恥ずかしくて堪らず体を隠すためのタオルを求めた。
「そんなのないわよ！温泉なんだから素っ裸で行けばいいでしょ！」
北原はそう言つて美優の願いを聞き入れることなく、一人先に露天風呂へ向かおうとした。幾ら寂れた温泉地とは言え、もしかしたら露天風呂には誰かいるかも知れず、タオル一枚持たずに素っ裸で向かうのは、人気女優の美優にはさすがに躊躇われた。しかし、女芸人の圧力に屈した美優は、仕方なく両手で乳房と股間を隠し、北原の後に付いて露天風呂へと続く小路を歩き出したのだった。

山間部にある温泉地のため、露天風呂へは木々が生い茂った中を歩いて行かなければならないように、素っ裸で何も持たない美優は小路を進むにつれ、ますます不安になっていった。そうして、北原の後に付いて二、三分ほど歩いた頃、目の前によく露天風呂が見えたのだった。

まさに秘湯とも呼ぶべき木々がうっそうと茂った中にある露天風呂には、カップルらしき若い男女の姿が見えた。どうしよう、恥ずかしい・・・誰もない事を期待していた美優は、思わず思わぬ事態に両脚をガクガク震わせ、怯えた。すると、そんな美優の様子を見た北原の口から思わぬ指示が飛び出した。

「美優ちゃん、それじゃあ私はこの辺から撮る。それとここからは両手で体を隠さないでちようだい。もし隠したら、美優ちゃんの浴衣を持って先に部屋に戻るからね！」

なんと北原は、カップルのいる露天風呂に一

人で行くよう美優に指示したのだ。しかも、
タオル一枚持たない美優に対して両手で体を
隠すことさえも禁じたのだった。
「そんな・・・」
美優は予期せぬ展開に戸惑い、両脚の震えが
止まらなかった。
「さあ早くしなさい！」
北原が強い口調で促すと、美優は両手を体か
ら離し、豊かな乳房も下腹部に生えた黒い茂
みも丸出しの恰好で、一人露天風呂へと歩き
出した。
露天風呂に近づくにつれ、カップルのラブ
タブな雰囲気ハッキリと伝わってきて、美
優の羞恥心を煽り立てた。ああん、こんな恰
好で行くなんて恥ずかしいすぎる・・・。露天
風呂のすぐ傍までやって来た美優は、激しい
羞恥に襲われ思わず立ち止まってしまった。
そして恐る恐る後ろを振り返ると、遠くの方
から自分を睨みつける北原の顔が見えた。女
芸人の半端ない圧を感じた美優は、羞恥を押

し殺してこのままもう露天風呂に入りに行く
しかなかった。
而して、美優は気持ちを奮い立たせると、
おもいきって露天風呂へと近づいて行ったの
だった。
「えっ」
美優が露天風呂の傍までやって来ると、素っ
裸の美女に気づいたカップルは思わず驚きの
声を漏らした。二人は、こんな寂れた露天風
呂には場違いな美女が現れた事と、その美女
が卑猥なほどに美しい裸身を余す所なく晒し
ている事に酷く驚いている様子だった。
「アレ？もしかして神里美優じゃね？」
「ホントだ！どうしてこんな所に美優ちゃん
がいるの、ヤバくない？」
カップルは露天風呂に入って来た美女の顔を
マジマジと見つめながら、興奮した様子でそ
う囁き合った。
「ああん、どうしよう・・・気づかれちゃつ
た・・・。美優は早くもカップルに自分の正

体を気づかれてしまい、羞恥に顔を真っ赤に染め、思わず両手で体を隠そうとした。から北原の怒鳴り声が響いてきたのだった。『美優ちゃん、両手で体を隠しちゃダメでしょ！それからカップルにちゃんと自己紹介しなさい！』美優は北原の怒声に驚き、すぐに両手を体から離れた。そして、両脚をガクガク震わせながらカップルの方を向いて立ち尽くしたのだった。

■ 海老沢薫 B L O G

・ ・ ・ 最新作の出版情報や、そのほか各種コンテンツ情報を配信。

<https://ebisawakaoru.blog.2nt.com/>

■ そのほか SNS

https://x.com/ebisawa_K

https://www.instagram.com/kaoru_ebisawa/

<https://www.pixiv.net/users/70200870>

■ 海老沢薫 Web 連載小説

『 清楚な美人妻 彩 27 歳 絵画モデル編 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=9281>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 国民のペットへと堕ちていくヒロイン ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18802>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 女神の憂鬱 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=26675>

『 女教師 玲奈 25 歳 ー 女性教諭の前代未聞の不幸事 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=17186>

『 美人社長 里帆 26 歳 ー 若き女社長のプライドを砕く屈辱の契約 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18885>